

### 4月28日 日台交流ユニバーサルコンサート in 神戸 2019

2019年4月28日(日)に「日台交流ユニバーサルコンサート in 神戸 2019」が「北野工房」で、開催されました。日台交流ユニバーサルコンサートは日台両国の身障者の人たちが参加する音楽会で、目の不自由な方や車いすの方などが出演されていました。

障害がある人もない人も音楽を楽しむというひとつの空間を共有することで、本来もっている個々の力をより引き出せるのだと感じました。プログラムの最後には張文乃先生の指揮の下、国際合唱団と参加者全員で歌を歌い、和やかなムードの中、閉会されました。その後、行われた懇親会では出演者も一緒に中華料理店へ行き、おおいに盛り上がったようです。これからも国境を越えたこのような交流が進むことを願っています。最後になりましたが、台湾の陳団長の日本語スピーチは素晴らしかったです。また、機会があれば参加したいと思います。(中文同好会 渡利 慶昭)

表現技術が卓越していること、また、国際的に活動されている方が多いことに驚く。そして、プログラムの紹介文により、此処に至るまでに出演者の皆さんが並々ならぬ努力を積み重ねられていることに感動。

コンサート後の交流会で、見事なピアノ演奏を聴かせてくれた青年のご両親と同席する。彼は音楽のほかにも外国語にも堪能で、海外での演奏活動の折も言語に苦労はないとのことである。彼の様々な才能を伸ばすためにご両親が全霊を傾け、支えとなっていることが感じ取られた。

「頑張りすぎて体を壊さないで」と声がかかる。「私たちが無理しすぎるぐらいでないと、彼の方が潰れてしまいます。これからも、この子が音楽活動を通して社会と繋がっていけるように支えていきます」との言葉に、ご両親の覚悟が見えた。

出席されている日本と台湾の親御さんは、皆さん同じ決意を胸に子供たちを支援されているのだろう、という感慨を胸に会場を後にした。(眞崎 徹彦)



日台交流出演者集合写真

### 5月26日 台南瀛海中学との交流

総会開催の日時に台南瀛海中学が孫文記念館に見学と事務室のホワイトボードにあったため、旅行会社のJTB 岡山支店に連絡入れて、せっかくなので先に海上プロムナードへ行かれてからホールが使える 12 時 40

分頃孫文記念館にと調整し、短い間ですが、台湾からの修学旅行の団体と交流することができました。日本の神戸には、孫文記念館があり、ここに私たち友の会が、孫文記念館を支えて、活動していることを知ってもらう良い機会になりました。(後藤 みなみ)



台南瀛海中学と交流

### 6月14日 日中民族音楽会「國風粵韻」

中国広東民族楽団での音楽芸術グループでの演奏は、素晴らしい奏者の演奏でした。とても感動いたしました。楽団と共に合唱が出来たことは、日中友好の良き時となりました。合唱に参加でき、とても感謝いたしております。(藤浦 佐知子)

### 「京劇西遊記 2019—旅のはじまり」

6月11日から23日、東京、大阪、名古屋で上海京劇院による「西遊記 2019—旅のはじまり」が上演され、各地で満員御礼のにぎわいを見せました。1986年から京劇の招聘事業を続けてきた特定非営利活動法人京劇中心にとって5本めの西遊記物語で、三蔵と孫悟空との出会いから旅立ちまでを描いた、二人の成長物語です。

殺生を叱られいったんは仕事を放棄したものの、「天竺でお経をいただく」という大事業のためには他と調和せねばならないことを学び、自分の役割に目覚める孫悟空。一人では決して自分の任務を遂げられないことに気づいた三蔵も、孫悟空とうまくつきあう方法を学びました。二人が心をつなげたことで新たな仲間(白馬)が加わり、ようやく長い旅路がスタートしたのです。

本作の構成・演出・主演を務めた巖慶谷さんは丑(道化役)の国家一級俳優で、神戸学院大学留学を機に大蔵流狂言を学び、上海日本人会にファンクラブをもつ日中文化交流の申し子のような方。まさに中華人民共和国70周年と日中文化交流協定締結40周年を記念するにふさわしい作品でした。日々進化する京劇に、今後も熱い声援を送りたいと思います。(神戸学院大学 中山 文)



撮影：虞凱伊